



竹村の塔

豊田市立竹村小学校 学校だより 7月号 令和4年 7月15日(金) 発行人:近藤僚吾

6月の終わりから7月初めにかけての記録的な猛暑、台風の接近、新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けて、子どもたちの安全を確保するための対応に追われる日々が続いています。例年、この時季に日本のどこかで風水害が起き、大きな被害をもたらします。このような中で災害による被害をできるだけ少なくし、危険を察知して自分の尊い命を守ることは重要な課題になっています。学校においても学活や道徳の時間で子どもたちと共に学んでいきたいと考えています。あと少しで夏休みです。暑さを乗り越え、9月に子どもたちの明るい笑顔で学校生活が再開されることを願っています。

① 5年生が合言葉「最高の助け合い」のもと野外学習を行いました。

6月28日(火)と29日(水)に一泊二日で5年生が野外学習を行いました。当日は気温が上昇し、予定していたプログラムができるかどうか心配しましたが、オリエンテーリングのコースを変更したり、休憩時間を多めにとったりして、プログラムを実施することができました。今回は合言葉「最高の助け合い」のもと、野外学習に出かける前から実行委員を中心として準備をし、当日はお互いに声を掛け合い、合言葉を意識して活動しました。思い出に残る野外学習になりました。



【写真入れづくり】

② 6年生が総合的な学習の時間に高齢者体験を行いました。

6月22日(水)に6年生が総合的な学習の時間に高齢者体験を行いました。腕や足には重り、顔には視野が狭くなるゴーグルを身に付け、階段の昇り降りをしました。想像したより体が重く、周囲が見にくいため、怖さを感じる子もいました。今回の体験を活かし、社会科、国語科との学習と連携し、高齢者のみならず、すべての人々にとって住みよい街づくりについて学んでいきます。子どもたちが地域の一員としての自覚をもち、自分の考えをもつことをねらいにしています。



【重りをつけて昇り降り】

③ 1・2年生が絵本の絵をプロジェクターで拡大する読み聞かせを体験しました。

6月23日(木)1・2年生が絵本の絵をプロジェクターで拡大する読み聞かせを体験しました。読み聞かせボランティア「赤ずきんちゃん」のみなさんによるものです。語りも複数の方々で行われ、いつもの読み聞かせと違う雰囲気を味わいながら、絵本の世界に集中していました。子どもたちは、読み聞かせをとても楽しみにしています。語り手の心温まる語りが子どもたちの心に染み入るようで、読み聞かせが終わると、子どもたちの表情はとても柔らかいものになります。



【絵本の世界に集中して】

【お礼とお願い】6月の終わりから7月初めにかけての猛暑日には、子どもたちの登下校の安全を確保するために、保護者や見守りボランティアの方々にご協力をいただきました。ありがとうございました。夏休みまであと数日となりましたが、無事に夏休みを迎えるそうです。

夏休み明けの9月は、例年厳しい残暑となります。再度、ご協力を依頼することがあるかもしれません。その際は、よろしくお願いします。厳しい暑さには、くれぐれもお気を付けてください。